

2019年度夏の学校・時間割

	7月30日			7月31日			8月1日			8月2日			
	A会場	B会場	C会場	A会場	B会場	C会場	A会場	B会場	C会場	A会場	B会場	C会場	
6:30													6:30
45													45
7:00				朝食 (D会場)			朝食 (D会場)			朝食・チェックアウト (D会場)			7:00
15													15
30													30
45													45
8:00													8:00
15													15
30													30
45													45
9:00				重宇 a4-a6 b5-b8	太恒 a1-a3 b1-b4	星間 a4-a7	銀河 a16-a19	コン a10-a13	重宇 a15-a18	オールラウンド講演 (A・B会場)			9:00
15										休憩(・チェックアウト)			15
30				休憩			休憩			オールラウンド講演 (A・B会場)			30
45													45
10:00				星惑 a7-a9 b9-b12	招待講演 (銀河) 西村優里氏	観測 a9-a11 b1-b4	銀河 a20-a23	コン a14-a17	星惑 a14-a17	オールラウンド講演 (A・B会場)			10:00
15													15
30										ポスターアワード(A・B会場)			30
45										休憩			45
11:00				休憩			休憩			キャリア支援分科会 特別講演 (A・B会場) 講演 60分 + 自由歓談/休憩			11:00
15													15
30				重宇 a7-a10	招待講演 (コン) 富真賢二氏	観測 a12-a15	太恒 a4-a6	招待講演 (重宇) 菅野優美氏	観測 a16-a19	キャリア支援分科会 特別講演 (A・B会場) 講演 60分 + 自由歓談/休憩			30
45													45
12:00	受付 (ホリテイホールロビー)			昼食 (D会場)			昼食 (D会場)			昼食 (D会場)			12:00
15													15
30													30
45													45
13:00													13:00
15													15
30	重宇 a1-a3 b1-b4	招待講演 (コン) 勝田哲氏	星惑 a1-a3 b1-b4	星間 a8-a11	招待講演 (太恒) 飯島陽久氏	銀河 a4-a7	重宇 a19-a22	招待講演 (星惑) 片岡章雅氏	招待講演 (星間) 馬場彩氏	若手の会 総会 (A・B会場)			30
45													45
14:00													14:00
15	休憩			休憩			休憩			解散			15
30										14:00 一般参加者 完全撤収			30
45										15:00 若手の会 完全撤収			45
15:00	観測 a1-a4	招待講演 (銀河) 嶋川里澄氏	星間 a1-a3 b1-b4	コン a3-a5 b9-b12	招待講演 (星惑) 福井康雄氏	銀河 a8-a11	コン a18-a21	招待講演 (星惑) 高田淳史氏	銀河 a24-a27				15:00
15													15
30	全体ポスターセッション (ホワイエ)			全体ポスターセッション (ホワイエ)			全体ポスターセッション (ホワイエ)						30
45													45
16:00	チェックイン (ホリテイホールロビー)												16:00
15													15
30													30
45													45
17:00	観測 a5-a8	招待講演 (重宇) 須山輝明氏	星惑 a4-a6 b5-b8	重宇 a11-a14	招待講演 (観測) 金子大輔氏	星惑 a10-a13	重宇 a23-a26	星間 a12-a15	銀河 a28-a31				17:00
15													15
30													30
45													45
18:00	休憩			休憩			特別講演 (日本天文教育普及研究会様より)						18:00
15													15
30	コン a1-a2 b1-b8	招待講演 (太恒) 須田拓馬氏	銀河 a1-a3 b1-b4	コン a6-a9	招待講演 (星間) 岩崎一成氏	銀河 a12-a15	全体企画 (A・B会場)						30
45													45
19:00													19:00
15	休憩			休憩			写真撮影(A・B会場)						15
30													30
45													45
20:00	夕食 (D会場)			夕食 (D会場)			懇親会 (D会場)						20:00
15													15
30													30
45													45
21:00													21:00

<p>7月30日 13:15-14:15 A会場</p> <p>13:15 <u>重宇 a1</u> 物部 武瑠 (M1) BlackHole まわりのアクション雲による重力波放射</p> <p>13:30 <u>重宇 a2</u> 植田 郁海 (M1) クォーク・ハドロン相転移による背景重力波への影響</p> <p>13:45 <u>重宇 a3</u> 福永 颯斗 (M2) アクションにおける共鳴不安定性</p> <p>14:00 <u>重宇 b1 あ</u> 木太久 稜 (M1) F(R)gravity での Shuwarzshild-de Sitter black holes の anti- evaporation</p> <p>14:03 <u>重宇 b2 い</u> 遠藤 洋太 (M2) Q-balls</p> <p>14:06 <u>重宇 b3 う</u> 野村 皇太 (M1) スカラーダークマターとブラックホールへア</p> <p>14:09 <u>重宇 b4 え</u> 太田 溪介 (M1) Infinite Derivative Gravity 理論における特異点解消の構造について</p> <p>7月30日 17:00-18:00 B会場</p> <p>17:00 招待講演 須山 輝明氏 (東京工業大学) 原始ブラックホールは暗黒物質を説明できるか?</p> <p>7月31日 08:45-09:45 A会場</p> <p>08:45 <u>重宇 a4</u> 喜久永 智之介 (M1) Pulsar Timing Array による M87 からの低周波重力波の制限</p> <p>09:00 <u>重宇 a5</u> 高橋 卓弥 (M1) インフレーション中の量子ゆらぎと原始ブラックホール</p> <p>09:15 <u>重宇 a6</u> 間仁田 侑典 (M1) 宇宙の加速器の物理</p> <p>09:30 <u>重宇 b5 あ</u> 阿部 克哉 (M2) 原始ブラックホールによる非等方的な Kinetic Sunyaev-Zeld'ovich 効果</p> <p>09:33 <u>重宇 b6 い</u> 田中 章一郎 (M2) 21cm 線-CMB Lensing 相互相関の検出可能性と宇宙論パラメータの制限</p> <p>09:36 <u>重宇 b7 う</u> 近藤 寛人 (M2) HSC データを用いたフィラメント構造の弱重力レンズ効果測定</p> <p>09:39 <u>重宇 b8 え</u> 岡野 創 (M2) ヘリカルな磁場生成モデルにおける重力波生成</p> <p>7月31日 11:15-12:15 A会場</p> <p>11:15 <u>重宇 a7</u> 村上 広椰 (M1) Non Bunch-Davies 真空における単一スカラー場インフレーションモデルの観測量の推定</p> <p>11:30 <u>重宇 a8</u> 三嶋 洋介 (M2) Blue gravitational waves from slow-roll inflation</p> <p>11:45 <u>重宇 a9</u> 佐藤 靖 (M1) $R + R^2$ モデルに対する高階微分項による補正</p> <p>12:00 <u>重宇 a10</u> 新井 幸 (M1) 漸減する宇宙項と間欠的加速膨張</p>	<p>7月31日 17:00-18:00 A会場</p> <p>17:00 <u>重宇 a11</u> 竹村 希心 (M2) cubic-order Horndeski 理論においてスケーリング解を持つ最も一般的なラグランジアン</p> <p>17:15 <u>重宇 a12</u> 小池 貴博 (M2) Infinite Derivative Gravity 理論におけるブラックホールの内部構造に対するスカラー場の影響について</p> <p>17:30 <u>重宇 a13</u> 池田 拓人 (M1) Gauss-Bonnet 作用における metric 形式と metric-affine 形式の非等価性</p> <p>17:45 <u>重宇 a14</u> 楠見 蛸 (M2) 水面波メタマテリアルの実装とその宇宙論的応用について</p> <p>8月1日 08:45-09:45 C会場</p> <p>08:45 <u>重宇 a15</u> 神原 亮介 (M1) Hawking-like radiation</p> <p>09:00 <u>重宇 a16</u> 松本 怜 (M1) ブラックホールの無毛定理、地平面の安定性、および熱力学</p> <p>09:15 <u>重宇 a17</u> 何 俊逸 (M1) 発散方程式と静的ブラックホールの唯一性定理</p> <p>09:30 <u>重宇 a18</u> 上田 和茂 (M2) 回転 BH による真空崩壊の触媒作用</p> <p>8月1日 11:15-12:15 B会場</p> <p>11:15 招待講演 菅野 優美氏 (大阪大学) エンタングルする宇宙と精密観測</p> <p>8月1日 13:15-14:15 A会場</p> <p>13:15 <u>重宇 a19</u> 杉山素直 (M2) すばる HSC の銀河サーベイデータを使った宇宙論パラメータ推定手法の開発</p> <p>13:30 <u>重宇 a20</u> 栗田 智貴 (M2) 宇宙の大規模構造とダークマターハローの形状の相関</p> <p>13:45 <u>重宇 a21</u> 三浦 大志 (D1) ハッブル定数の不一致問題に対する cosmological backreaction による説明の問題点</p> <p>14:00 <u>重宇 a22</u> 小粥 一寛 (D1) 銀河形状を用いた初期三点相関の検証</p> <p>8月1日 16:30-17:30 A会場</p> <p>16:30 <u>重宇 a23</u> 山本 菜々花 (M1) CMB レンズングを用いた銀河団の質量推定</p> <p>16:45 <u>重宇 a24</u> 迫田 康暉 (M1) 21cm 線 と CMB 弱重力レンズ効果の相互相関による中性水素存在量の推定</p> <p>17:00 <u>重宇 a25</u> 古郡 国彦 (M1) Ultracompact minihalo の 21cm 線 観測による初期パワースペクトルの制限</p> <p>17:15 <u>重宇 a26</u> 口ノ町 瑛 (M1) 21cm-LAE cross-correlation を用いた 21cm 線 シグナルの検出可能性</p>
--	--

重宇 c1 あ 松野 阜 (D2)

Weyl クラス

重宇 c2 い 片桐 拓弥 (D1)

Modeling scalar fields consistent with positive mass

重宇 c3 う 林 航大 (M2)

軸対称時空における時間的閉曲線

重宇 c4 え 平野 進一 (D3)

修正重力理論におけるスカラー波の遮蔽機構とその破れ

重宇 c5 あ 大倉 靖央 (M1)

逆散乱法によるアインシュタイン方程式の厳密解の構成

重宇 c6 い 渡慶次 孝気 (M1)

重力の熱力学的側面

重宇 c7 う 竹林 蒼真 (M1)

ブラックホール内部の質量パラメータ・インフレーションと宇宙検閲官仮説

重宇 c8 え 村島 崇矩 (M1)

球形ブラックホールが及ぼす質量インフレーション

重宇 c9 あ 藤倉 浩平 (D2)

A new derivation of string-string interactions

重宇 c10 い 富川 慶太郎 (D1)

スカラー型ゆらぎから誘起される重力波のゲージ依存性

重宇 c11 う 石川 純也 (M2)

宇宙論における相転移由来の重力波

重宇 c12 え 佐藤 星雅 (D2)

Reheating after the hybrid Higgs inflation

重宇 c13 あ 佐野 有里紗 (M2)

Time crystal とその初期宇宙への影響の可能性

重宇 c14 い 橋本 大輝 (D1)

ダークマターの性質の制限:LSBG を用いたダークマター対消滅の探査

重宇 c15 う 羽柴 聡一郎 (D1)

右巻きニュートリノの重力的生成によるバリオン数と暗黒物質の生成

重宇 c16 え Qiu Tian (M1)

Constraints on asteroid-mass primordial black holes (PBHs) as dark matter candidates

重宇 c17 あ 簀口 睦美 (D2)

ボイドの形状進化と潮汐場の系統的調査

重宇 c18 い 吉田 貴一 (M2)

ガウス過程を用いた宇宙の大規模構造の復元

重宇 c19 う 時 聡志 (M1)

すばる **HSC** を用いた弱重力レンズの観測による宇宙論

重宇 c20 え 石倉 来実 (M1)

宇宙マイクロ波背景放射とザックス・ヴォルフ効果

コンパクト天体・宇宙素粒子

コンパクト天体・宇宙素粒子

	7月30日 13:15–14:15 B会場
13:15	招待講演 勝田 哲氏 (埼玉大学) 超新星残骸の観測から迫る超新星の親星
	7月30日 18:15–19:15 A会場
18:15	コン a1 岩田 朔 (M2) 超新星爆発時のフォールバックと中心天体からのエネルギー供給が決める若い中性子星の多様性
18:30	コン a2 早川 朝康 (D3) X-ray emission from a failed supernova and fallback heating effect
18:45	コン b1 あ 内海 碧人 (M1) 相対論的輻射磁気流体シミュレーションによるブラックホール超臨界降着円盤のアウトフロー形成
18:48	コン b2 い 高橋 幹弥 (M1) 一般相対論的輻射輸送シミュレーションの研究に向けたレビュー
18:51	コン b4 え 鈴木 遼 (D2) 多体系の Hill 安定性に対する一般相対論的効果の影響
18:54	コン b5 あ 御堂岡 拓哉 (M2) 1 型 Seyfert 銀河 NGC 5548 の X 線スペクトル変動の解釈
18:57	質疑応答 (3分)
19:00	コン b6 い 恒任 優 (M2) 活動銀河核ジェットの駆動メカニズム解明 輻射輸送計算による偏波イメージ 予測
19:03	コン b7 う 田嶋 裕太 (M1) 相対論 MHD ジェット伝搬シミュレーションと電波帯疑似観測
19:06	コン b8 え 衣川 智弥 (PD) 重力波観測での中性子星-白色矮星連星の観測可能性
	7月31日 11:15–12:15 B会場
11:15	招待講演 當真 賢二氏 (東北大学) ブラックホールジェット研究の新展開
	7月31日 14:30–15:30 A会場
14:30	コン a3 杉浦 健一 (D1) 原始中性子星冷却でのニュートリノ-核子間反応における weak magnetism の影響
14:45	コン a4 道簾 皓平 (M1) 超新星コアにおけるジェットの MHD 不安定性
15:00	コン a5 赤穂 龍一郎 (M1) 一般相対論的 Boltzmann 方程式の直接解法によるニュートリノ輻射輸送計算
15:15	コン b9 あ 小野 宏次朗 (M2) MHD シミュレーションに基づく電波星雲 W50 と X 線連星 SS 433 の共進化の解明
15:18	コン b10 い 新井 瑞月 (M1) 超新星爆発のイジェクタ内での磁場増幅
15:21	コン b11 う 須藤 貴弘 (D2) TeV Halos are Everywhere: Prospects for New Discoveries
15:24	コン b12 え 今川 要 (M1) 次世代ガンマ線天文台 CTA で観測する活動銀河核

	7月31日 18:15–19:15 A会場
18:15	コン a6 齋藤 晟 (M1) 偏光分光観測で探る高輝度超新星の爆発形状
18:30	コン a7 反保 雄介 (M1) HSC transient survey による Rapidly Evolving Transients の統計的解析
18:45	コン a8 松田 将大 (M1) HSC transient survey で探る明るい超新星の光度分布
19:00	コン a9 田口 健太 (M2) 輻射輸送計算に基づく爆発直後の新星スペクトルの考察
	8月1日 08:45–09:45 B会場
08:45	コン a10 小形 美沙 (M2) 連星系における超新星爆発の連星進化への寄与
09:00	コン a11 吉成 直都 (M2) 球状星団におけるコンパクト連星の力学進化
09:15	コン a12 鹿内 みのり (M1) 高速電波バーストと連星中性子星合体の同時検出可能性について
09:30	コン a13 富永 愛侑 (M1) MAXI データを用いた Circinus X-1 増光現象の統一解釈
	8月1日 10:00–11:00 B会場
10:00	コン a14 堀江 光希 (M1) Swift 衛星による GRB090618 の減光過程の広帯域スペクトル解析
10:15	コン a15 倉西 嶺人 (M1) 相対論的変動エディントン因子の輻射輸送計算
10:30	コン a16 西脇 公祐 (M1) Event Horizon Telescope が示唆する M87 中心付近の磁場
10:45	コン a17 菅谷 知博 (M1) フェルミガンマ線宇宙望遠鏡による超大質量ブラックホール Sagittarius A* の観測的研究
	8月1日 14:30–15:30 A会場
14:30	コン a18 井上 壮大 (M1) 中性子星への超臨界降着柱モデルによる超高光度 X 線源の X 線パルス計算
14:45	コン a19 古野 雅之 (M1) 超臨界降着流のフラクタル次元解析
15:00	コン a20 吉武 知紘 (M1) 超高光度 X 線源 Holmberg IX X-1 の広帯域 X 線同時観測スペクトル解析
15:15	コン a21 高嶋 聡 (M1) X 線衛星「すざく」を用いた Eddington 限界を超えた光度を持つ中性子星連星 SMC X-1 の観測

<p>コン c1 あ 武井 勇樹 (D1) Constructing a Model for Interaction-Powered Supernovae Using Radiative Transfer Simulations コン c2 い 松岡 知紀 (M2) Radio Emission from Supernovae in the Very Early Phase: Implications for the Dynamical Mass Loss of Massive Stars コン c3 う 中村 拓未 (M1) 重力波で迫る重力崩壊型超新星の爆発メカニズム コン c4 え 財前 真理 (D1) 超新星爆発においてニュートリノハローがニュートリノ集団振動へ与える影響 コン c5 あ 高橋 満里 (M1) CTA で迫るガンマ線バースト コン c6 い 長井 拓巳 (M1) 陰解法を用いたモンテカルロ輻射流体について コン c7 う 齋藤 祥太 (M1) すざく衛星のデータを用いた高エネルギー突発天体の探査 コン c8 え 直江 知哉 (M2) 量子論的 Synchro-Curvature radiation によるメーザーと FRB コン c9 あ 山口 純矢 (M1) Kerr BH からの電磁場を介したエネルギー抽出メカニズム コン c10 い 高村 美恵子 (M1) Narrow-line Seyfert 1 型銀河 1H0323+342 の論文の紹介と今後の課題と展望 コン c11 う 山本 剛大 (M1) AGN フィードバックにおける分子形成とモレキュラーアウトフロー コン c12 え 宇都宮 拓哉 (M2) フェルミガンマ線宇宙望遠鏡による Cygnus X-1, X-3 の観測 コン c13 あ 平松 卓也 (M1) SS 433 の放射スペクトルについて コン c14 い 古田 智也 (M2) GeV ガンマ線で観るスターバースト銀河 コン c15 う 土肥 明 (M2) 中性子星内部のニュートリノ放射が及ぼす X 線バーストの影響 コン c16 え 小林 浩平 (M1) MAXI/GSC のデータを用いた新天体 MAXI J1631-479 のエネルギースペクトル解析 コン c17 あ 青木 真凜 (M1) MAXI のデータを用いた X 線新星 MAXI J1727-203 の解析 コン c18 い 高城 龍平 (M1) NICER のデータを用いた MAXI J1810-222 の解析</p>	<p>7月30日 14:30-15:30 B 会場 14:30 招待講演 嶋川 里澄氏 (国立天文台) 研究者バトルロイヤル: 傾向から学ぶ最初の5年間の立ち回り方 7月30日 18:15-19:15 C 会場 18:15 銀河 a1 蛭子 俊大 (M1) ダークマターの自己相互作用を考慮した宇宙の構造形成シミュレーション 18:30 銀河 a2 和間 雄司 (M1) AGN ジェットによる乱流とガス円盤でのフィードバックの解析 18:45 銀河 a3 山崎 雄太 (M2) 重元素組成比の時間進化に関する理論計算 19:00 銀河 b1 あ 三橋 一輝 (M1) ALMA を用いたサブミリ波銀河のクラスタリング解析 19:03 銀河 b2 い 美里 らな (M1) すばる Hyper Suprime-Cam で見つかった青い銀河団の X 線の性質 19:06 銀河 b3 う 奈女良 朱里 (M1) CLUMP-3D: Three-dimensional Shape and Structure of 20 CLASH Galaxy Clusters from Combined Weak and Strong Lensing 19:09 銀河 b4 え 大前 陸人 (M1) 系外銀河の電波源におけるファラデー回転測度と赤方偏移依存性の調査 7月31日 10:00-11:00 B 会場 10:00 招待講演 西村 優里氏 (東京大学) 分子輝線から銀河を理解するための“分子雲”の星間化学 7月31日 13:15-14:15 C 会場 13:15 銀河 a4 谷口 大輔 (M2) 銀河系棒状バルジ終端部付近の金属欠乏 13:30 銀河 a5 大森 清顕 (M1) MaNGA データを使った相互作用銀河の研究 13:45 銀河 a6 梶川 明祐実 (M1) 近傍銀河における空間分解した星質量と星形成率の関係 14:00 銀河 a7 八嶋 裕 (M1) 近傍の棒渦巻銀河 M83 の分子ガスの密度の研究 7月31日 14:30-15:30 C 会場 14:30 銀河 a8 山本 涼一 (M1) SZ 効果を用いた大規模構造に付随する中高温銀河間物質の探査 14:45 銀河 a9 辻 歩美 (M2) XMM-Newton 衛星を用いた楕円銀河 NGC 4472 の広がった X 線放射の研究 15:00 銀河 a10 山口 友洋 (M1) X 線天文衛星 XMM-Newton を用いた初期衝突銀河団 CIZA1359 の構造解析 15:15 銀河 a11 米山 理可子 (M1) X 線観測による遠方銀河団の高温ガスの重元素比の進化</p>
---	--

7月31日 18:15–19:15 C会場		8月1日 16:30–17:30 C会場	
18:15	銀河 a12 山本 直明 (M2) すばる超広視野観測で解き明かす大規模構造形成と銀河進化	16:30	銀河 a28 菅原 悠馬 (D3) 星形成銀河のアウトフロー速度の赤方偏移進化
18:30	銀河 a13 朝野 哲郎 (M1) $z \sim 1$ 銀河団の最新観測で探る 銀河降着過程と星形成活動の関係	16:45	銀河 a29 Shimodate Karin (M2) HSC-SSP で探る $z \sim 4-5$ の AGN 光度関数
18:45	銀河 a14 安藤 誠 (M2) $z \sim 2$ における原始銀河団コアの探査とメンバー銀河の性質	17:00	銀河 a30 石本 梨花子 (M1) 宇宙再電離期における暗いクエーサー周囲の近接電離領域
19:00	銀河 a15 米倉 直紀 (M1) $z = 2.4$ 53W002 原始銀河団における大質量銀河の星形成の調査	17:15	銀河 a31 菊地原 正太郎 (D1) 重力レンズ効果と可視/近赤外深撮像観測で探る $z \sim 6-9$ の低質量銀河と球状 星団候補
8月1日 08:45–09:45 A会場		銀河 c1 あ 佐藤 裕太 (M1) 初代銀河からのダークマターの性質の手がかり	
08:45	銀河 a16 牛尾 海登 (M1) $z \sim 1.4$ の星形成銀河における分子ガス clump の発見	銀河 c2 い 大滝 恒輝 (M1) ダークマター欠乏銀河の形成過程	
09:00	銀河 a17 小山 紗桜 (M1) ALMA を用いた $z \sim 3.2$ のサブミリ波銀河 AzTEC8 の構造解析	銀河 c3 う 奥 裕理 (M1) シミュレーションによるダークマターハローへの質量降着と星形成率の関係の考察	
09:15	銀河 a18 瀬戸口 健太 (M1) Stripe 82X の多波長観測データを用いた電波銀河の研究	銀河 c4 え 福島 啓太 (M1) 銀河のダークハロー fundamental plane の進化	
09:30	銀河 a19 小林 宇海 (M1) 銀河の相互作用、及び衝突・合体が活動銀河核の活動性に及ぼす影響について	銀河 c5 あ 野村 亮介 (M1) CTA で探るダークマター	
8月1日 10:00–11:00 A会場		銀河 c6 い 野口 実沙子 (M1) 銀河団の衝撃波面で期待される 1 次フェルミ加速	
10:00	銀河 a20 城 知磨 (M1) AGN の活動性が狭輝線領域の電離ガスに与える影響	銀河 c7 う 大久保 宏樹 (M1) 降着衝撃波による逆コンプトン散乱放射の可視光観測に適した銀河団の決定	
10:15	銀河 a21 山田 智史 (D1) [O IV] $25.89\mu\text{m}$ と nuclear $12\mu\text{m}$ の光度比を用いた “塵に埋もれた” 活動銀河核の診断法	銀河 c8 え 佐藤 元太 (M1) Gaia データを用いた天の川銀河の構造解析	
10:30	銀河 a22 小川 翔司 (M2) X 線観測で探るセイファート 1 型銀河のトラス構造	銀河 c9 あ Namiki Shigeru (D1) SDSS と ALFALFA データを用いた近傍銀河のインフロー、アウトフローの解明	
10:45	銀河 a23 登口 暁 (D2) SDSS と WISE を用いた、可視光線で極めて青い Dust-Obscured Galaxies の探査	銀河 c10 い 石井 菜摘 (M1) SDSS システムにおける渦巻銀河の内部減光量補正と腕形態による星形成の比較	
8月1日 14:30–15:30 C会場		銀河 c11 う 赤堀 美桜 (M1) 銀河の定量的分類とその成因	
14:30	銀河 a24 中野 すずか (M1) 銀河衝突はクエーサー活動に影響を及ぼすのか? ~ 撮像・分光データによる検証 ~	銀河 c12 え 近藤 千紘 (M1) 空間分解した銀河におけるスケールリング側の研究	
14:45	銀河 a25 Tang Shenli (M1) binary QSOs as tracer of mergers	銀河 c13 あ 中津野 侃貴 (M1) シミュレーションによる銀河中心近傍にある若い星団の個数予測	
15:00	銀河 a26 鹿熊 亮太 (M2) 超大規模「面分光サーベイ」による AGN サンプル構築と AGN duty cycle の制限	銀河 c14 い 磯部 優樹 (M1) 質量とサイズの関係から探る、初代銀河類似天体としての極金属欠乏銀河	
15:15	銀河 a27 岩下 昂平 (M2) HSC-SSP & CHORUS を用いた $z = 4.9$ における Type-II AGNs 探査	銀河 c15 う 松本 光生 (M1) CO 回転振動遷移吸収線を用いた AGN 周辺の分子ガス分布の研究	

銀河 c16 え 谷本 敦 (D3)
Application of X-Ray Clumpy Torus Model to Obscured AGNs
 銀河 c17 あ 名越 俊平 (M2)
 状態遷移するクエーサー
 銀河 c18 い Zhang Yechi (M1)
HETDEX Survey & Ly α Luminosity Function at $z = 1.9 - 3.5$
 銀河 c19 う 玉田 望 (M1)
HSC-SSP を用いた高赤方偏移 **DLA** の可視光対応天体の探索
 銀河 c20 え 青山 皓平 (M1)
 原始銀河団と環境効果

7月30日 18:15-19:15 B会場

18:15 招待講演 須田 拓馬氏 (東京大学)
 金属欠乏星で探る宇宙の星形成と化学進化

7月31日 08:45-09:45 B会場

08:45 太恒 a1 田中 宏樹 (M1)
 太陽の **CaK** 線観測による紫外線放射の推定
 09:00 太恒 a2 富野 芳樹 (M1)
 部分電離プラズマ中での衝撃波の形成と発展
 09:15 太恒 a3 中谷 賢人 (M2)
 線形フォースフリー磁場モデルを利用した太陽活動領域磁場の特徴量の抽出について
 09:30 太恒 b1 あ 石川 遼太郎 (D1)
 スペクトル線幅から探る太陽光球プラズマダイナミクス
 09:33 太恒 b2 い 木村 なみ (M1)
 京都大学飛騨天文台望遠鏡を用いたフィラメント噴出・消失の **3** 次元速度場の導出
 09:36 太恒 b3 う 谷 竜太 (M1)
 太陽極域磁場観測の概観
 09:39 太恒 b4 え 岩崎 巧実 (M1)
 狭帯域フィルターを用いた金属欠乏星の搜索

7月31日 13:15-14:15 B会場

13:15 招待講演 飯島 陽久氏 (名古屋大学)
 太陽大気の輻射磁気流体シミュレーション

8月1日 11:15-12:00 A会場

11:15 太恒 a4 高橋 陽也 (M1)
X 線天文衛星「すざく」を用いた地球大気散乱太陽 **X** 線鉄輝線のテール構造の起源の探求
 11:30 太恒 a5 岡本 壮師 (M1)
Kepler 望遠鏡を使った太陽類似星のスーパーフレアの検出
 11:45 太恒 a6 栗山 直人 (M1)
IIn/Ibn 型超新星の親星における爆発的な質量放出の研究

太恒 c1 あ 古谷 侑士 (M2)
 光球で起こるアネモネジェットの数値的研究

太恒 c2 い 關 嵩覚 (M2)
 恒星フレアによる元素合成の可能性の数値的研究

太恒 c3 う 鷲ノ上 遥香 (M2)
 ゼロ・低金属量星におけるコロナループ加熱

太恒 c4 え 河合 敏輝 (M2)
 機械学習と数値計算を用いた微小フレアの検出およびエネルギー推定

太恒 c5 あ 山崎 大輝 (M2)
2017 年 **9** 月 **6** 日に大規模フレアを起こした活動領域のコロナ磁場外挿による不安定解析

太恒 c6 い 木原 孝輔 (M2)
 宇宙天気予報研究のための太陽黒点分類機の開発

星間現象

星間現象

7月30日 14:30-15:30 C会場		8月1日 16:30-17:30 B会場	
14:30	星間 a1 小橋 亮介 (M1) young から middle-aged の超新星残骸からの非熱的放射についての統一モデルの構築に向けて	16:30	星間 a12 飯田 竜太 (M1) 未知の PeVatron 天体に求められる条件の考察
14:45	星間 a2 松田 真宗 (M1) Chandra X 線観測衛星を用いた超新星残骸 Tycho の時間変動の観測	16:45	星間 a13 大塚 駿平 (M1) 深層学習を用いた超新星残骸 W49B の X 線スペクトルによる特徴抽出
15:00	星間 a3 西野 将悟 (M1) 宇宙加速のシミュレーションに必要な分解能の検証	17:00	星間 a14 日暮 凌太 (M2) Chandra X 線衛星を用いた超新星残骸 RX J1713.7-3946 北西領域の hot-spot の解明
15:15	星間 b1 あ 安田 晴皇 (D1) 超新星残骸内における超新星爆発による宇宙線加速	17:15	星間 a15 Goux Pierre (M1) 乱流による多相星間媒質の構造形態について
15:18	星間 b2 い 嶋口 愛加 (M2) すざく衛星による W51 領域からの中性鉄輝線の発見	星間 c1 あ 卜部 夕希乃 (M1) XMM-Newton 衛星における SN1987A の RGS データ解析	
15:21	星間 b3 う 宇留野 麻香 (M1) CO J=3-2 輝線データを用いた銀河系高速度分子雲の統計的研究	星間 c2 い 瀬井 柊人 (M2) 大型レーザーを用いた超新星残骸における無衝突衝撃波の生成実験	
15:24	星間 b4 え 関口 卓馬 (M1) オリオン領域における分子ガスの解析と星形成について	星間 c3 う 前田 龍之介 (M2) 中性水素ガス衝突による星団形成の理論的研究	
7月31日 08:45-09:45 C会場		星間 c4 え 中津川 大輝 (M2) 低金属環境における超音速星間乱流についての数値シミュレーション	
08:45	星間 a4 木下 真一 (M1) M17 赤外線暗黒星雲領域の分子雲の力学状態と分子雲衝突の可能性について	星間 c5 あ 柏木 頼我 (M1) 星形成における分子雲フィラメント構造の役割	
09:00	星間 a5 近藤 滉 (M1) ALMA による渦巻銀河 M33 の巨大分子雲の高分解能観測	星間 c6 い 杉山 慧 (M1) 高出力レーザーを用いた磁化プラズマ中の無衝突衝撃波生成実験	
09:15	星間 a6 渡邊 裕人 (M1) $l = 0^\circ.85$ 高速度コンパクト雲群の観測的研究	星間 c7 う 横塚 弘樹 (M1) 銀河系円盤部における高速度分子ガス	
09:30	星間 a7 中川原 峻介 (M1) CO 0.02-0.02 のラインサーベイ観測		
7月31日 13:15-14:15 A会場			
13:15	星間 a8 福島 光太郎 (M1) チャンドラ衛星による銀河系内の超新星残骸 G344.7-0.1 の X 線観測		
13:30	星間 a9 畠内 康輔 (M1) Chandra 衛星を用いた X 線による重力崩壊型超新星残骸 N132D の時間進化の解析		
13:45	星間 a10 鈴木 瞳 (M1) XMM-Newton RGS を用いた超新星残骸 N132D の高分解能 X 線分光解析		
14:00	星間 a11 天野 雄輝 (M2) XMM-Newton 衛星搭載の回折格子分光装置 RGS による超新星残骸 N49 の X 線精密分光		
7月31日 18:15-19:15 B会場			
18:15	招待講演 岩崎 一成氏 (国立天文台) 衝撃波が駆動する星間媒質の相転移ダイナミクス		
8月1日 13:15-14:15 C会場			
13:15	招待講演 馬場 彩氏 (東京大学) 多様性の源: 超新星残骸		

星・惑星形成

星・惑星形成

7月30日 13:15-14:15 C会場	
13:15	星惑 a1 安部 大晟 (M2) 分子雲におけるフィラメント状構造の起源と星形成初期条件の解明に向けた数値シミュレーション
13:30	星惑 a2 村瀬 建 (M2) 野辺山 45m 望遠鏡を用いたアンモニアマッピングサーベイプロジェクト KAGONMA W33 について
13:45	星惑 a3 吉田 大輔 (M1) 深層学習を用いた天文データ解析
14:00	星惑 b1 あ 大出 康平 (M1) へび座分子雲における低質量 YSO の近赤外分光観測
14:03	星惑 b2 い 金井 昂大 (M1) R CrA 領域における若い超低質量天体の近赤外測光探査
14:06	星惑 b3 う 竹内 媛香 (M1) 銀河面低密度領域における星形成の広域探査観測
14:09	星惑 b4 え 中村 桃太郎 (M1) 6.7 GHz メタノールメーザーは大質量星原始星のアウトフローに付随するか？
7月30日 17:00-18:00 C会場	
17:00	星惑 a4 竹村 英晃 (M2) オリオン A 分子雲の高密度領域内外における高密度コアの質量関数
17:15	星惑 a5 東 翔 (M1) ミニハロー内の分子雲コアにおける乱流の増幅
17:30	星惑 a6 原田 直人 (M1) 大質量連星形成と連星間距離の解析的研究
17:45	星惑 b5 あ 定成 健児エリック (M1) 初代星形成における磁場の影響
17:48	星惑 b6 い 織田 篤嗣 (M2) 初代星形成時の星周円盤と周連星円盤について
17:51	星惑 b7 う 柳崎 真詩 (M1) ミニハローにおける磁場の増幅
17:54	星惑 b8 え 小野 遥香 (M1) 原始星円盤形成に対する磁気散逸の効果
7月31日 10:00-11:00 A会場	
10:00	星惑 a7 松浦 孝之 (M1) うみへび座 TW 星周囲のギャップを持つ原始惑星系円盤でのダスト進化
10:15	星惑 a8 桑原 歩 (M2) 惑星が駆動する原始惑星系円盤ガス流によるペブル降着抑制と惑星形成への示唆
10:30	星惑 a9 星野 遥 (M2) 巨大衝突によって形成される惑星系の軌道構造の中心星質量依存性
10:45	星惑 b9 あ 中野 龍之介 (M2) 深層学習を用いた 3DMHD の高速化による長時間原始惑星系円盤進化シミュレーション
10:48	星惑 b10 い 福原 修平 (M1) 原始惑星系円盤におけるダスト成長の中心星質量依存性

10:51	星惑 b11 う 加藤 大明 (M2) 非軸対称擾乱がストリーミング不安定性に及ぼす影響
10:54	星惑 b12 え 石岡 千寛 (M1) 埼玉大学 55cm 望遠鏡 SaCRA/MuSaSHI を用いた系外惑星の多波長トランジット測光観測
7月31日 14:30-15:30 B会場	
14:30	招待講演 福井 康雄氏 (名古屋大学) 大質量星・巨大星団形成の謎を解く
7月31日 17:00-18:00 C会場	
17:00	星惑 a10 石城 陽太 (D1) Particle-Particle Particle-Tree 法を用いた惑星系形成の N 体計算
17:15	星惑 a11 河合 航佑 (M1) 惑星形成における衝突破壊の重要性の再検討
17:30	星惑 a12 池田 千尋 (M1) ダスト高密度領域における雷によるコンドリュール形成モデル
17:45	星惑 a13 森岡 夏未 (M1) HD189733b の X 線、紫外線によるトランジット観測
8月1日 10:00-11:00 C会場	
10:00	星惑 a14 潮平 雄太 (M1) 重力マイクロレンズ法を用いた系外惑星の電波放射の観測
10:15	星惑 a15 奈良 悠冬 (M1) ペブル集積による小惑星セレスへのアンモニア氷の供給
10:30	星惑 a16 鈴木 光 (M1) X 線天文衛星「すざく」で観測した彗星における電荷交換反応モデルの検証
10:45	星惑 a17 角田 伊織 (M2) N 体計算による準惑星ハウメアのリング形成過程の検証
8月1日 13:15-14:15 B会場	
13:15	招待講演 片岡 章雅氏 (国立天文台) 惑星ができない！ 理論・観測両面から迫る惑星形成
星惑 c1 あ 三杉 佳明 (D1) 分子雲コアの角運動量の起源について	
星惑 c2 い 吉岡 佑太 (M1) 初代星形成における輻射フィードバック	
星惑 c3 う 佐藤 亜紗子 (M1) 連星形成におけるアウトフローの駆動メカニズム	
星惑 c4 え 長谷川 大空 (D1) 星団形成期における周囲の星による星周円盤の破壊	
星惑 c5 あ 川崎 良寛 (M1) 原始惑星系円盤における円盤風の駆動	

星惑 c6 い 吉田 雄城 (M1)
Streaming instability の物理
 星惑 c7 う 本間 和明 (M2)
 有機物の原始惑星系円盤における形成と微惑星形成への影響
 星惑 c8 え 大野 和正 (D3)
Assessing the Dusty Outflows from Super-puff with Grain Microphysics
 星惑 c9 あ 櫻庭 遥 (D1)
 惑星集積時のコア形成と大気剥ぎ取りに着目した地球形成シナリオ
 星惑 c10 い 西出 朱里 (M2)
 ハーシェル宇宙望遠鏡の撮像データを用いた系外彗星雲の研究
 星惑 c11 う 笠木 結 (M1)
 近赤外線視線速度観測による低質量星まわりの惑星検出
 星惑 c12 え 桑田 敦基 (M1)
 系外惑星探査への **Deep Learning** の適用
 星惑 c13 あ 半谷 康介 (M1)
 木星大気に存在する大赤斑の維持機構の考察
 星惑 c14 い 紅山 仁 (M1)
Tomo-e Gozen による小惑星探査

7月30日 14:30-15:30 A 会場

14:30 観測 a1 荻野 直樹 (M1)
HiZ-GUNDAM 搭載次世代 CMOS 検出器の分光性能および放射線耐性の評価
 14:45 観測 a2 Kim seonyong (M1)
 超小型衛星搭載広視野 X 線撮像検出器の熱設計と性能評価
 15:00 観測 a3 児玉 涼太 (M1)
X 線 SOI ピクセル検出器の軟 X 線性能評価
 15:15 観測 a4 高久 諒太 (M2)
CMB 偏光観測衛星 **LiteBIRD** の偏光変調器に向けた広帯域反射防止構造のレーザー加工技術開発とその光学評価

7月30日 17:00-18:00 A 会場

17:00 観測 a5 西ノ宮 ゆめ (M1)
CMB 偏光観測に用いる **TES** 性能評価における環境・手法の開発
 17:15 観測 a6 村田 雅彬 (M1)
Simons Observatory CMB 偏光測定実験に向けたスパースファイバーを用いた偏光校正装置の開発
 17:30 観測 a7 小笠原 健也 (M1)
 広視野 X 線集光系の開発
 17:45 観測 a8 芳野 史弥 (M1)
 湾曲 Si 結晶を用いたブラッグ反射型偏光計の性能評価

7月31日 10:00-11:00 C 会場

10:00 観測 a9 山崎 康正 (M1)
1.85m 電波望遠鏡 新光学系の開発進捗
 10:15 観測 a10 湯浅 辰哉 (M1)
 マイクロマシン技術を用いた **Lobster eye X 線** 光学系の試作
 10:30 観測 a11 竹原 佑亮 (M1)
 電鍍技術を用いた飛翔体搭載用 X 線望遠鏡開発
 10:45 観測 b1 あ 横山 航希 (M1)
1.85m 電波望遠鏡搭載に向けた局部発振器系による中間周波数帯への影響調査
 10 48 観測 b2 い 桶屋 誠人 (M1)
Small-JASMINE の星像の end-to-end シミュレーション
 10:51 観測 b3 う 木村 成美 (M1)
 赤外線高分散分光器 **VINROUGE** : セラミック製軸外し非球面ミラーの開発
 10:54 観測 b4 え 峰 海里 (M1)
 超長時間滞空気球に搭載する広視野ガンマ線イメージャの開発

観測機器

観測機器

講演プログラム

	<p>7月31日 11:15–12:15 C会場</p> <p>11:15 観測 a12 立石 大 (M1) IACTにおける機械学習を用いたガンマ線とハードロンイベントの弁別</p> <p>11:30 観測 a13 政井 崇帆 (M1) 放送静止衛星を用いたBSアンテナのビームパターンの測定</p> <p>11:45 観測 a14 野橋 大輝 (M1) 超小型衛星搭載用中性子・ガンマ線検出器の開発</p> <p>12:00 観測 a15 久富 章平 (M1) 雷由来のショートバースト解明に向けたDAQシステムのアナログ回路部の高速化とMPPCの応用検討の研究</p> <p>7月31日 17:00–18:00 B会場</p> <p>17:00 招待講演 金子 大輔氏 (東京大学) 宇宙マイクロ波背景放射観測の現状</p> <p>8月1日 11:15–12:15 C会場</p> <p>11:15 観測 a16 円尾 芽衣 (M1) せいめい望遠鏡におけるSHWFSを用いたシーイング評価</p> <p>11:30 観測 a17 八木 雄大 (M1) 太陽アクシオン探索のためのTES型X線マイクロカロリメータの特性評価</p> <p>11:45 観測 a18 清水 里紗 (M1) X線マイクロカロリメータ動作のための極低温環境と読み出し系の構築</p> <p>12:00 観測 a19 平野 航亮 (M1) SXDBの銀河内未知線源解明に向けた半導体サーミスタ型X線マイクロカロリメータ読み出し系の改良</p> <p>8月1日 14:30–15:30 B会場</p> <p>14:30 招待講演 高田 淳史氏 (京都大学) MeVガンマ線天文学の現状とSMILE計画</p> <p>観測 c1 あ 鎌田 恭彰 (M1) ペルチェ素子を用いたX線CCD冷却システムの構築</p> <p>観測 c2 い 由比 大斗 (M1) CMOSイメージセンサのX線分光性能評価</p> <p>観測 c3 う 長澤 俊作 (M1) 太陽観測ロケット実験FOXSI-3用両面ストリップCdTe検出器の性能評価</p> <p>観測 c4 え 高比良 拓馬 (M1) JAXA 54 mアンテナ用20 GHz帯ヘテロダイン受信機の周波数利得雑音設計</p>	<p>観測 c5 あ 加藤 晶大 (M1) LiteBIRD衛星に搭載する超伝導検出器の試験システム開発</p> <p>観測 c6 い 浜崎凌 (M2) 画像認識を用いた超新星の検出</p> <p>観測 c7 う 大金 原 (M2) 補償光学系を用いた大気ゆらぎの高さ分布推定法の開発</p> <p>観測 c8 え 飯塚 悠太 (M1) 補償光学装置におけるTip-Tilt mirror制御の評価</p> <p>観測 c9 あ 川本 莉奈 (M1) 鹿児島大学1m望遠鏡用可視光2色同時撮像装置の開発</p> <p>観測 c10 い 榎引 洸佑 (M2) 近赤外線撮像分光装置SWIMSのための面分光ユニットSWIMS-IFUの開発</p> <p>観測 c11 う 阿部 日向 (M1) IACTにおけるガンマ線観測のバックグラウンドとその物理過程</p>
--	---	---